

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 10 - 11

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		各学校施設修理改修事業				
評価者	担当課名	教育振興課		担当係名	教育総務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	高橋健仁		氏名	安井雅憲
事業の概要	町立学校施設や教職員住宅については経年により、各種修理改修工事が必要となることから、児童生徒の安全面や施設の適切な維持管理を目的に比較的小規模な工事を本事業により実施する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 国・道支出 6,600 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 12,760 千円 事業費計 19,360 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武 ~ 教育・文化の振興 ~			
	基本施策	#	学校教育の充実			
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実			
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	2,850 千円	7,360 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円
	合計	2,850 千円	7,360 千円	3,000 千円	3,000 千円	3,000 千円

422

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	学校施設	望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	安全で安心な教育環境の形成が必要である。	学校施設の適切な維持管理			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を整備するため、施設の延命化を図る。	町内学校施設	指標 (指標計算式 / 解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成24年度	
			目標値	7 校	
			実績値	7 校	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	児童生徒さらには保護者が安全で安心できる教育環境がつけられる。		達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内容(どのような手段で何を行ったか)					
学校要望の調査	各学校における修理等要望調査を実施。				
状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所や方法について確認。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	児童・生徒が義務教育を受けるための学校施設を町が維持管理していくことは必要不可欠である。特に児童生徒の安全面を最重要視し、保護者も安心できる教育環境をつくるために本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	教育環境整備として施設の延命化が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	本事業について、必要工事を精査し、また費用積算についても効率性の重視を図った。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	本事業により児童生徒が等しく安全面等で享受することが出来た。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
児童が義務教育を受けるための環境づくり、保護者が安心して子どもを学校に通学させられる環境づくりが図られた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続 / 現状維持 児童・生徒の安全面を最重要視し、的確な改修工事の必要性を把握し、児童・生徒が義務教育を受けるための環境づくり、保護者が安心して子どもを学校に通学させられる環境づくりは継続が必要である。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--